

PRESS RELEASE

新国立劇場 2023/2024シーズン 演劇

東京ローズ

フルオーデション企画第6弾は、初のミュージカル！
戦時中、米兵から「東京ローズ」と呼ばれた
謎の女性アナウンサーのひとり、アイバトグリ(戸栗郁子)の物語。
イギリス発の話題作を藤田俊太郎の演出により日本初演！



(上段 左から)飯野めぐみ、シルビア・グラブ、鈴木瑛美子
(下段 左から)、原田真絢、森 加織、山本咲希



芸術監督・翻訳
小川絵梨子



演出
藤田俊太郎

2023年12月7日(木)～24日(日) 新国立劇場 小劇場
10月14日(土)10:00～ 一般前売開始！

【写真・資料のご請求、取材のお問い合わせ】

新国立劇場 制作部演劇 広報担当 杉田
TEL: 03-5352-5738 FAX: 03-5352-5737
E-mail: sugita_a8863@nntt.jac.go.jp
〒151-0071 東京都渋谷区本町 1-1-1

 **新国立劇場**
NEW NATIONAL THEATRE TOKYO
<http://www.nntt.jac.go.jp>

作品について

全ての出演者をオーディションで決定する**フルオーディション企画の第 6 弾は、初のミュージカル作品**、2019 年にイギリスの BURNT LEMON THEATRE が製作した『東京ローズ』の**日本初上演**です。

太平洋戦争時、米兵の士気を失わせるため、日本が放送したプロパガンダ放送「ゼロ・アワー」。正体不明の女性アナウンサーたちは、「東京ローズ」という愛称で呼ばれ、米兵のラジオアイドルともいえる存在に。終戦後、アメリカ人記者たちの「東京ローズ」の正体探しが加熱する中、ある一人の女性が名乗り出ました。
——米国籍、日系二世のアイバ・トグリ(戸栗郁子)。

本作はこのアイバ・トグリが戦中戦後の歴史の波に飲み込まれながら、アメリカと日本、二つの祖国にアイデンティティを引き裂かれ、自身の権利を奪われながらも、決してあきらめることなく闘う姿を、**女性 6 名のキャストによって描くミュージカル**です。

翻訳は新国立劇場 演劇芸術監督の**小川絵梨子**が手掛け、演出は新国立劇場では『東京ゴッドファーザーズ』(2021 年)で緻密な物語の世界観を丁寧に描き出した**藤田俊太郎**が担います。

2022 年 12 月から始まったオーディションには 936 名の応募者がエントリーし、二度にわたる映像審査を経て、1月下旬から2月初旬にかけて一次、二次選考を実施し、**飯野めぐみ、シルビア・クラブ、鈴木瑛美子、原田真純、森 加織、山本咲希**の6名が選ばれました。

今回の藤田による演出では、主人公アイバを 6 人がリレー式に演じます。そして、男と女、アメリカと日本、差別する側とされる側、裁く側と不当にも裁かれる側、相反する立場の役柄を 6 名全員で演じ分けていきます。耳に残るパワフルな楽曲、バンドの生演奏、そして圧倒的な歌唱力を誇る 6 名の歌声が、アイバ・トグリの物語を現代へと蘇らせます。どうぞご期待ください。

<BURNT LEMON THEATRE と“TOKYO ROSE”>

BURNT LEMON THEATRE は 2017 年に活動を開始した英国の女性を中心メンバーとした演劇集団。“TOKYO ROSE”の作家キャラ・ボルドウィン、英国版の演出を手掛けたハンナ・ベンソンをはじめ、メンバーの多くが演出と俳優、振付と俳優、作曲と俳優、など公演においては色々な役割を兼任しながら作品創作を行っている。本国では、次代を担う演劇集団として、今最も注目を浴びている。

“TOKYO ROSE”は 19 年にエディンバラ・FRINGE で初演され、完売した BURNT LEMON THEATRE の代表作で、その年の UNTAPPED AWARD、Les Enfants Terribles Stepladder Award を受賞。ディベロップを重ねながら 21 年に英国内ツアーを行った。台本・作詞はメンバーのメリー・ユーンとキャラ・ボルドウィン、作曲はウィリアム・パトリック・ハリソンによる。日本軍が第二次世界大戦中におこなった連合国側向けプロパガンダ放送の女性アナウンサー「東京ローズ」として唯一知られているアイバ・トグリ(戸栗郁子)を描いた物語である。

あらすじ

“Who is Tokyo Rose?”

アイバ・トグリ(戸栗郁子)は 1916 年にアメリカで生まれアメリカで育った日系二世。日本語の教育を受けることなく 1920~30 年代のアメリカで青春を過ごした。

叔母の見舞いのために 25 歳で来日し、すぐに帰国するはずが、時代は第二次世界大戦へと突入。アメリカへの帰国も不可能となってしまう。そこでアイバは、母語の英語を生かし、タイピストと短波放送傍受の仕事に就く。戦争によって起こる分断や、離散、別れ。多くの人々を襲った不幸がアイバ自身とその家族の身にも降りかかる。やがてラジオ・トウキョウ放送「ゼロ・アワー」の女性アナウンサーとして原稿を読むことになったアイバ。彼女たちをアメリカ兵たちは「東京ローズ」と呼んだ。

終戦後、アイバが行っていたことは、日本軍がおこなった連合国側向けプロパガンダ放送であったとされ、本国アメリカに強制送還され、国家反逆罪で起訴されてしまう。

本国アメリカから、戦中日本の悪名高きラジオアナウンサー「東京ローズ」であった罪を問われることとなったアイバ。彼女は本当に罪人だったのか…?

翻訳 小川絵梨子からのメッセージ

『東京ローズ』は、BURNT LEMON THEATRE が制作したミュージカル作品です。今年の一月に BURNT LEMON THEATRE の劇作家、作曲家、演出家の方々にお会いする機会があり、この度の新国立劇場での公演を大変喜んで下さっていました。また翻訳等で質問があればいつでもどうぞ、とあたたかく仰って下さり大変にありがたく、心強く思っております。アメリカ国籍を持っていた『東京ローズ』の主人公は太平洋戦争後に敵国に加担としたとして逮捕され、国家反逆罪で法廷に立たせられました。その後、有罪判決を受け国籍を剥奪されますが、一方、日本で働いていた頃には敵性外国人と見做され、警察から圧力をかけられていたといいます。国家同士の戦争によって自らの存在を否定され、激しい人種的偏見によって二つの国で尊厳を奪われた個人の物語。この『東京ローズ』は決して過去のものではなく、今の時代の物語でもあると思っております。

演出 藤田俊太郎からのメッセージ

新国立劇場フルオーディション企画第 6 弾。オーディションを通して、日々大きな喜びを感じました。歌唱映像で参加して下さった 936 名の歌声には魂、唯一無二の魅力がありました。全員とお会いすることは叶いませんでしたが、対面での選考を共にした女優の演技者としての実力に心が熱くなりました。素晴らしい役者の力、演劇の力をあらためて感じて震えるような気持ちです。

主人公の日系二世アイバトグリ(戸栗郁子)は生涯を通じて翻弄され続けます。「東京ローズ」と呼ばれ、ラジオのアナウンサーとして、祖国アメリカ合衆国から反逆罪に問われます。本人はアメリカ軍人に対するプロパガンダ放送ではないと主張しましたが、戦争と人種差別の犠牲となったアイバは国籍を奪われました。それでも後悔はない、人を恨まないと、アメリカ人として信念を貫きました。収容所で亡くなった母親、財産を全て奪われた父親、家族の存在、ルーツ、語った真実は今を生きる私たちに多くのことを教えてくれます。戦前、戦中、戦後。太平洋戦争の時代と格闘し、強く生きた一市民の姿を板の上に克明に焼き付けたいと思います。

出演者は女性だけです。6 人がリレー式にアイバを演じ、全員でテーマを背負います。男性と女性、アメリカ人と日本人、差別する側とされる側、終戦後のアメリカでの裁判で、裁く側と不当にも裁かれる側を演じ分けます。台本、音楽、身体、テーマにカンパニー皆でとことん向き合いたいと考えます。演劇の言葉、新しい価値観を模索する可能性に挑戦をしたいと思います。観客の皆様には、新しいミュージカルの誕生を是非劇場で楽しんでいただけたらと思っています。

最後になりましたが、この作品を創り、私たちに日本初演の機会を与えてくれた BURNT LEMON THEATRE に心からの感謝と敬意を込めて。

スタッフプロフィール



翻訳:小川絵梨子 OGAWA Eriko

2004年、ニューヨーク・アクターズスタジオ大学院演出部卒業。06～07年、平成17年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修生。18年9月より新国立劇場の演劇芸術監督に就任。

近年の演出作品に、『おやすみ、お母さん』『管理人／THE CARETAKER』『ダディ』『ダウト～疑いについての寓話』『検察側の証人』『ほんとうのハウンド警部』『作者を探す六人の登場人物』『じゃり』『ART』『死と乙女』『WILD』『熱帯樹』『出口なし』『マクガワン・トリロジー』『FUN HOME』『The Beauty Queen of Leenane』『ローゼンクランツとギルデNSTAERNは死んだ』『CRIMES OF THE HEART 一心の罪』『死の舞踏／令嬢ジュリー』『ユビュ王』『夜想曲集』『RED』『スポケーンの左手』など。

新国立劇場では『レオポルトシュタット』『アンチポデス』『キネマの天地』『タージマハルの衛兵』『骨と十字架』『スカイライト』『1984』『マリアの首～幻に長崎を想う曲～』『星ノ数ホド』『OPUS/作品』の演出のほか、『かもめ』『ウィズロウ・ボーイ』の翻訳も手がける。



訳詞:土器屋利行 DOKIYA Toshiyuki

ロンドン大学インペリアルカレッジを化学／経営学で卒業。『ミス・サイゴン』、『プリシラ』、『マイフェア・レディ』、『ラ・カージュ・オ・フォール』、『ペテン師と詐欺師』、『モダン・ミリー』などに出演。『モンティ・パイソンのスパマロット』、『フル・モンティ』、『タイトル・オブ・ショウ』、『エドウイン・ドルードの謎』、『ヤング・フランケンシュタイン』、『ブロードウェイと銃弾』、『サムシング・ロッテン!』、『プロデューサーズ』、『アニー』(一部楽曲)、『BE MORE CHILL』、『MEAN GIRLS』(翻訳)などの翻訳・訳詞を手掛けるほか、グラミー賞やトニー賞生中継の通訳なども務める。



音楽監督:深沢桂子 FUKAZAWA Keiko

国立音楽大学ピアノ科卒。1987年、宮本亜門演出のShowStopperシリーズ第一弾『I GOT MERMANN』で音楽監督、編曲を務め、以来、数多くのミュージカル音楽監督を務める。2005年からオリジナルミュージカルを作曲。『VIVA! Forties』をはじめKAAT『ピノキオまたは白雪姫の悲劇』秋田わらび座、愛媛の坊っちゃん劇場への作品など数多く手がける。そのほか作曲・音楽監督として携わった主な作品に、11年『ヒロイン』、12年『Newヒロイン』、18年『DAY ZERO』、19年『イノサン』、22～23年『手紙』、23年坊っちゃん劇場『ジョンマイラブ』など。

17年『手紙』において第24回読売演劇大賞上半期スタッフ賞ノミネート。



演出:藤田俊太郎 FUJITA Shuntaro

東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業。在学中の2004年、ニナガワ・スタジオに入り、15年まで蜷川幸雄作品に演出助手として携わる。ミュージカル『The Beautiful Game』の演出で第22回読売演劇大賞優秀演出家賞、杉村春子賞を、ミュージカル『ジャージー・ボーイズ』の演出で第24回読売演劇大賞優秀演出家賞を、『ジャージー・ボーイズ』『手紙2017』の演出で第42回菊田一夫演劇賞を、絢爛豪華祝祭音楽劇『天保十二年のシェイクスピア』、ミュージカル『NINE』『VIOLET』の演出で第28回読売演劇大賞最優秀演出家賞、第42回松尾

芸能賞優秀賞演劇部門をそれぞれ受賞。そのほかの主な演出作品に、『ラヴ・レターズ』『ミネオラ・ツインズ』『ピーター・パン』『Take Me Out』『sound theater VI・VII』『ダニーと紺碧の海』、美女音楽劇『人魚姫』『話してくれ、雨のように...』『喜劇一幕・虹艶聖夜』など。新国立劇場では、『東京ゴッドファーザーズ』を演出。

出演者プロフィール



飯野めぐみ IINO Megumi

高校時代よりダンス、歌、芝居のレッスンを開始し、卒業後はテーマパークのダンサーとして数々のショーやパレードに出演。2003年『天使は瞳を閉じて』で初舞台を踏み、以降舞台を中心に活動。最近ではドラマ出演、オーディブル『翼の翼』『心の葛藤はすべて私の味方だ』のナレーションなど、活動の場を広げている。

【主な舞台】ミュージカル『生きる』『キンキーブーツ』『パレード』『CHESS THE MUSICAL』『リトル・ナイト・ミュージック』『メンフィス』『1789-バステューの恋人たち-』『sign』『貴婦人の訪問』『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』『配達されたい私たち』『ラブ・ネバー・ダイ』『五右衛門ロック』『マルグリット』『サンセット大通り』『ロッキーホラーショー』など。新国立劇場では『INTO THE WOODS』に出演。



シルビア・グラブ Sylvia GRAB

ボストン大学音楽学部声楽科卒業後、『Jerry's Girls』で本格的に舞台での活動を開始。以降、ミュージカルを中心に幅広く活躍し、2008年に『レベッカ』で第34回菊田一夫演劇賞、12年に『国民の映画』で第19回読売演劇大賞優秀女優賞、22年には、第43回松尾芸能賞優秀賞を受賞。これまでの主な出演にドラマ『18/40～ふたりなら夢も恋も～』『シェフは名探偵』、NHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』『真田丸』などがある。

【主な舞台】『アメリカの時計』『ラビット・ホール』『ショウ・マスト・ゴー・オン』『ジュリアス・シーザー』『日本の歴史』『三谷幸喜のショーガール』『メアリ・スチュアート』、ミュージカル『ロミオ & ジュリエット』『紳士のための愛と殺人の手引き』『タイタニック』など。新国立劇場では『パッション』『INTO THE WOODS』に出演。



鈴木瑛美子 SUZUKI Emiko

幼少期から音楽に囲まれた環境で育ち、7歳で作詞作曲を始める。2015年「全国ゴスペルコンテスト」のボーカル部門で優勝し、翌年バラエティ番組で「最強ゴスペル女子高生」として紹介される。18年、映画『恋は雨上がりのように』の主題歌を歌い、翌年自身で作詞作曲を手掛けた「FLY MY WAY/Soul Full of Music」でメジャーデビュー。21年にテレビアニメ『キングダム』のエンディングを担当。22年3月1stアルバム「5 senses」をリリース。

【主な舞台】『ムーラン・ルージュ！ザ・ミュージカル』、ミュージカル『RENT』、SHOW-ismXI『BERBER RENDEZVOUS』『ジェイミー』『ホイッスル・ダウン・ザ・ウィンド ～汚れなき瞳～』など。



原田真絢 HARADA Mahya

小学生のときに観た『アニー』をきっかけにミュージカルの虜となる。高校入学と同時にミュージカルスクールに入り、歌やダンスを学ぶ。高校卒業後、バイトで旅費を貯めて、ニューヨークのブロードウェイダンスセンターでレッスンを受ける。2017年、ミュージカル『ビューティフル』のスウィングを務めた。以降、ミュージカル作品を中心に本格的に活動。

【主な舞台】ミュージカル『ラグタイム』『ドリームガールズ』『ヘアスプレー』『ボディガード』『マタ・ハリ』『NINE』『CHESS THE MUSICAL』など。



森 加織 MORI Kaori

大阪音楽大学短期大学部声楽科卒業後、USJ『ウィケッド』出演後上京。2009年に流山児★事務所『ユーリントウン』のオーディションを受け、警官などの役で出演。以降、舞台を中心にアニメの吹き替えなど幅広く活動。これまでの主な声の出演に、ミュージカル映画『シュミカドーン 2』MC 役『美女と野獣』『アナと雪の女王』『メリダとおそろしの森』などがある。18年には東京ディズニーリゾート 35周年“Happiest Celebration!”イン・コンサートに出演した。

【主な舞台】ミュージカル『生きる』『メリリー・ウィー・ロール・アロング』『天保十二年のシェイクスピア』『レ・ミゼラブル』『メンフィス』『太平洋序曲』、『薔薇とサムライ 2-海賊女王の帰還-』『神州無頼街』『狐晴明九尾狩』『修羅天魔～髑髏城の七人 Season 極』など。



山本咲希 YAMAMOTO Saki

中学高校でミュージカル部に所属し、主に男役として出演。現在、国際基督教大学在学中。

【主な舞台】ミュージカル『ルーザーヴィル』『バイ・バイ・バーディー』『ブロードウェイ殺人事件』『プロパガンダ・コクピット』など。



公演概要

【タイトル】『東京ローズ』

【スタッフ】

台本・作詞：メリー・ユーン／キャラ・ボルドウィン

作曲：ウィリアム・パトリック・ハリソン

翻訳：小川絵梨子

訳詞：土器屋利行

音楽監督：深沢桂子

演出：藤田俊太郎

芸術監督：小川絵梨子

【キャスト】

飯野めぐみ、シルビア・クラブ、鈴木瑛美子、原田真絢、森 加織、山本咲希

【会場】 新国立劇場 小劇場

【公演日程】2023年12月7日(木)～24日(日)

12月	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
昼			13:00	13:00	休演日	貸切	14:00	14:00		13:00	13:00 びあ貸切	休演日
夜	19:00	19:00								19:00	18:00	

12月	19	20	21	22	23	24
曜日	火	水	木	金	土	日
昼	14:00	14:00	14:00		13:00	13:00
夜				19:00	18:00	

※開場は開演の30分前です。 ※12月17日(日)公演は、「びあスペシャルデー(びあ貸切公演)」のため、前売り券は「チケットびあ」で販売いたします。新国立劇場ではZ席のみ販売します。

※12月12日(火)は貸切公演のため、Z席を含めチケット販売はございません。 ※12月19日(火)、20日(水)は1階及び2階の一部に学校団体が入る予定です。

【料金(税込)】

A席 7,700円／B席 3,300円

【一般発売】 2023年10月14日(土)10:00～

【チケット申し込み・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス TEL: 03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <https://nntt.pia.jp/>

* **Z席1,650円** Z席(各日16席)は、公演当日朝10:00から、新国立劇場Webボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。 ※先着販売後、残席がある場合は、公演当日朝11:00からボックスオフィス窓口でも販売いたします。 ※電話予約不可。

* **当日学生割引** 公演当日残席がある場合、Z席を除く全ての席種について50%割引にて販売。要学生証。電話予約可。

* **各種割引** 新国立劇場では、高齢者割引(65歳以上5%)、障がい者割引(20%)、学生割引(5%)、ジュニア割引(中学生20%)、アトレ会員割引(5～10%)など各種の割引サービスをご用意しています。

【新国立シアタートーク】

日時:12月14日(木)公演終了後 出演:藤田俊太郎、全キャスト 司会:中井美穂

入場方法:本公演チケット(いずれの日程でも可)をご提示ください。

【託児のご案内】

12月14日(木)公演は、託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。(定員制／要予約／有料)

* 受付開始日:10月14日(土)～